

令和4年3月18日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和4年3月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに90件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は13,422件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 件 数	90	13,422
関係都道府県数	21	47
関係市町村(区)数	32	999

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	10	19	17	44	90
累 計	2,387	4,235	2,726	4,074	13,422

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	1	4	5	4	2	4	0	16	36	18	0	0	90
累 計	119	1,413	1,681	513	237	417	337	460	6,009	1,928	223	85	13,422

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	72	0	18	90
累 計	10,643	663	2,116	13,422

今回の答申における主なもの

① スイス人建築家が設計した空沼岳のヒュッテ

001 北海道大学空沼小屋 北海道札幌市 昭和3年

札幌南郊、空沼岳の万計沼畔に所在する北海道大学の山小屋。建設の発意に秩父宮雍仁親王が関わり、基本設計はスイス人建築家のM・ヒンデル。丸太組構法で、登山者が集えるストーブ周りの吹抜や、30人を収容可能な二階の寝所など、機能的で良質なスイス風のヒュッテ（山小屋）。



② 水沢城下武家住宅の系譜を引く数寄屋風邸宅

002 旧安倍家住宅主屋 岩手県奥州市 明治前期

水沢城下の中心部に位置する近代和風住宅。技巧を凝らした二階座敷など数寄屋風の意匠を施し、見所が多い。屋敷は表門を通りに面して構え、北国特有の板葺や土蔵を配するなど、建物と相まって近世武家住宅の系譜を見て取れる。



提供：奥州市教育委員会

③ 文人墨客が集った和紙産地のランドマーク

013 旧岡山酒造養浩園喜雨亭 茨城県常陸大宮市 明治中期

和紙や楮の市が開かれた高部地区中心部に位置する造り酒屋の座敷棟。一階は茶室、二階は床構え付きの座敷からなり、障壁面に書画を飾り、広大な庭園である養浩園を見下ろす。三階部分には酒の看板を掲げて広告塔の役目も果たし、特徴ある町並みを形成する。



④ 戦災と台風被害から復興した古代寺院伽藍^{がらん}
037 四天王寺五重塔^{してんのうじ} 大阪府大阪市 昭和34年

戦災やジェーン台風で失われた四天王寺伽藍の、鉄骨鉄筋コンクリート造による再建造物群。五重塔は心柱を立てずに昇降に供する二重螺旋階段^{らせん}を設けるなど近代的な側面を備えつつ、中国の古代壁画や発掘調査成果を取り入れながら、伽藍全体に飛鳥様式^{あすか}を基調とした復古建築。建築史家藤島玄治郎^{ふじしまがいじろう}の設計で、施工は大林組。



提供：宗教法人四天王寺

⑤ 女子大前のまちかどの小さな洋風交番^{なべや}
066 旧奈良警察署鍋屋^{なべや}巡查派出所 奈良県奈良市 昭和前期

奈良女子大学向かいの市街地の一角に位置する洋風の派出所。当初はスレート葺きで、隅切り部に切妻破風^{すみき きりつまはふ}とフィニアルを載せる。外壁はモルタル塗りで柱や梁を表現し、柱間をドイツ壁仕上げとする。住民と大学と奈良市が協働^{はしらま}して、地域の拠点施設及び観光案内所として活用している。



提供：奈良市教育委員会

⑥ 大社造^{たいしゃづくり}に相応しい建築史家監修による大型拝殿
075 美保神社拝殿^{みほ} 島根県松江市 大正13年

桁行16メートル、梁間12メートルを超える切妻造り柿葺きの建物で、下屋中央に切妻破風を付して正面性を高める。内部は石敷きで円柱を並べ^{おごそ} 厳かな空間を形づくり、大社造の重要文化財美保神社本殿に相応しい壮大な拝殿。建築史家伊東忠太^{いとうちゆうた}と明治神宮造営局木村米次郎^{きむらよねじろう}の設計。



<担当> 文化庁文化財第二課電話：03-5253-4111（代表）
課長 山下 信一郎
課長補佐 山村 満理子
登録部門 黒坂 貴裕、清永 洋平（内線 2797）
審議会係 川口 雅之、福島 絵里奈（内線 3160）

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
1	北海道大学空沼(そらぬま)小屋	北海道札幌市	S3/H28改修	空沼岳の万計沼(ばんけいぬま)畔に所在する山小屋で、建設の発意に秩父宮雍仁(やすひと)親王が関わり、スイス建築家ヒンデルが設計した。丸太組構法の二階建てで、小規模ながら機能的で最大三〇名宿泊可能。ストーブ廻りの吹抜けなど、スイスの良質な山小屋を思わせる。	建築物	文化福祉 2
2	旧安倍家住宅主屋	岩手県奥州市	M前期/T後期増築	水沢城下武家町に所在する屋敷の一連の建物。主屋は二階建て玄関棟に、座敷棟を雁行して配す。座敷をL字に連ね、庭園に面して縁を巡らす。二階座敷は傘天井とし数寄屋風(すきやふう)に技巧を凝らし、全体として上質な近代和風住宅。板蔵は主屋の北東で街路に面する平屋建てで、東北地方に多い板壁の倉庫で、歴史的景観を形成する。土蔵は主屋の東にあり、鶴絵(こてえ)や海鼠壁(なまこかべ)で意匠を凝らした豪壮な建物。表門は敷地北中央に開き、軒を漆喰で塗り籠めた独特な意匠とする。庭門は庭園の東辺に開く瀟洒な腕木門。城下の武家屋敷の構成を継承する建物群。	建築物	住宅 2
3	旧安倍家住宅板蔵		M前期		建築物	住宅 1
4	旧安倍家住宅土蔵		M後期		建築物	住宅 1
5	旧安倍家住宅表門		T後期		工作物	住宅 1
6	旧安倍家住宅庭門		T後期		工作物	住宅 1
7	旧櫻井醸造(ヤマカ/醸造)事務所		宮城県登米市		M42/S前期改修	登米城下町南辺に所在する町家で醤油醸造業の事務所(主屋)と醸造蔵二棟。事務所は角地にある二階建て切妻(きりつま)造りの建物で、梁を重ねた東立の小屋組、軒の出桁(だしげた)造りを見せて、壁を下見板張りとする。主屋から通りを挟んで所在する醸造蔵のうち、南蔵は太い鉢巻と勾配屋根が特徴的で、小屋組は斜材を用いた洋小屋を模した構造とする。醸造蔵は腰屋根と窓で通気性を確保した蔵で、海鼠壁で意匠を凝らす。地域の酒造の歴史と景観を伝える。
8	旧櫻井醸造(ヤマカ/醸造)南蔵	M45		建築物	産業2次 1	
9	旧櫻井醸造(ヤマカ/醸造)醸造蔵	M後期/S前期改修		建築物	産業2次 1	
10	大高森薬師堂	宮城県東松島市	T前期	特別名勝松島の宮戸島(みやとじま)にある薬師堂で、公園整備の一環で建設された。宝形(ほうぎょう)造り棧瓦葺き。円柱で、組物は舟肘木、軒は一軒棟(まばら)垂木とする。向拝を持たず、瓦当(かとう)に蓮華文(れんげもん)を施すなど復古的な様相を示す仏堂。	建築物	宗教 1
11	旧三宮堂(さんのみやどう)田中医院診療所	福島県双葉郡双葉町	T11頃	双葉駅前の旧陸前浜街道沿いに所在する医院の洋風診療所と煉瓦(れんが)造倉庫。診療所は二階建てで、寄棟造りの正面に切妻破風とフィニアルを掲げる。一階は診療室などで、二階は床(とこ)付き座敷と洋室を並べる。煉瓦蔵はイギリス積みで壁頂部に軒蛇腹(のきじやばら)を回す。町の象徴的な建物として親しまれる。	建築物	文化福祉 1
12	旧三宮堂中医院煉瓦蔵		S2頃		建築物	文化福祉 1

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
13	旧岡山酒造養浩園喜雨亭(ようこうえんきうてい)	茨城県常陸大宮市	M中期/H7改修	紙や楮(こうぞ)の市が開かれた高部(たかぶ)に所在する造り酒屋の木造三階建ての座敷棟。入母屋造りで当初は木羽葺き。二階に床付き座敷を構えて書画を飾り、接客に用いる。三階は壁面に看板と色ガラスを嵌めて広告に用い、町のランドマークである。	建築物	産業2次
14	谷中家住宅主屋	茨城県結城郡八千代町	M30/S初期改修	鬼怒川西岸の坪井に所在する農家。寄棟(よせまね)造り茅葺きで軒をせがいで造りとし、軒付(のきづつけ)は新旧の葺殻(おがら)を市松模様にして意匠を凝らす。内部は土間と六間取りの居室で、さらに北側に下屋で三室を並べる。地域の伝統的な農村景観を形成する民家。	建築物	住宅
15	高畠家住宅主屋		T15	神田駿河台に所在する近代和風住宅で、実業家の隠居座敷として建設された。屋敷は、間知石(けんちいし)布積みの石垣と、その上に巡る棧瓦葺きの塀で囲む堂々とした構えで、正面石垣に正門となる腕木門を開く。正門は切妻造り棧瓦葺き、起り屋根で数寄屋風の意匠とする。主屋は入母屋(いりもや)造り棧瓦葺きで霧除庇(きりよけびさし)を回し、外観に加えて内部の風格ある座敷は見応えがある。コンクリート基礎、床組の火打梁(ひうちばり)、補強金具等、耐震に配慮した関東大震災復興建築として貴重で、都市化が進むビル街に往時の町の景観を留める。	建築物	住宅
16	高畠家住宅正門	東京都千代田区	T15頃		工作物	住宅
17	高畠家住宅塀及び石垣		T15頃		工作物	住宅
18	呉竹文庫主屋		S3	手取川河口の旧湊村に実業家が設立した私設図書館。主屋は平屋建ての上質な近代和風住宅で、片廊下の南に広縁と次の間を備える表座敷、仏間座敷、白樺の床柱を用いた数寄屋風の角座敷(つのさしき)を配する。書庫は土蔵造りで掛子塗りの扉を開き、一階に書棚を並べ、二階は重厚な洋風意匠の書齋とし、全体として和洋折衷にまとめる。付属する閲覧室棟は、一階を閲覧室、二階は数寄屋風で意匠を凝らした床構え付き座敷とする。土蔵は元着物蔵で、一階戸口に鰯絵の掛子塗扉と、豪壮な鳥居枠を構える。茶室は三面に庇を回して土縁とし、三畳茶室に花頭窓形に仕切った一畳の床脇を付す。壁に埋め込んだ呉竹を床柱にするなど床構えが独創的な茶室。	建築物	文化福祉
19	呉竹文庫書庫及び閲覧室	石川県白山市	T4頃/S3増築		建築物	文化福祉
20	呉竹文庫土蔵		M22頃/H2改修		建築物	文化福祉
21	呉竹文庫茶室		S18頃		建築物	文化福祉
22	山本家住宅主屋	山梨県南都留郡富士河口湖町	S29/S46増築・H31改修	河口湖南東に位置する和風住宅。入母屋造り屋根の平屋建てで、東に切妻造りの二階を増築し、正面に入母屋造り玄関を付す。内部は四間取り座敷で北西を床構え付き座敷とする。湖畔の伝統的集落景観を形成する。	建築物	住宅

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
23	与良町郷蔵(よらまらちごうぐら)	長野県小諸市	E末期/M中期・S57改修	小諸城下の長勝寺境内に所在する郷蔵。土蔵造り、棧瓦葺きの置屋根形式。外壁は荒壁仕上げで、北に下屋を付して二箇所戸口を開く。城下で藩政時代に廻る唯一の郷蔵で、近代以降も集会所として活用する。	建築物	産業1次 2
24	旧加納家住宅主屋	長野県北佐久郡軽井沢町	S25/S40移築	旧軽井沢区に建つ坂倉準三設計の木造組立住宅。両妻面外側のA字形棟持柱で合成梁の棟を支えて切妻屋根を架ける。内部の居間はロフト状の中二階を持つ。戦後のプレファブ建築黎明期の希少な遺構。	建築物	住宅 2
25	愛知県立瑞陵高等学校感喜堂(かんきどう)(旧講堂)	愛知県名古屋市中	T13/S54・H27改修	瑞穂区の校地南西隅に建つ鉄筋コンクリート造の旧講堂。四面に切妻破風を立ち上げ、縦長のガラス窓が上下に意匠を変えて並ぶ。セセッション調にまとめた外観をよく残す。	建築物	学校 2
26	旧愛知県半田中学校武道場(七中(ななちゆう)記念館)	愛知県半田市	T13/S25・H30改修	現半田高校の校地中央北寄りに建つ鉄筋コンクリート造の旧武道場。半切妻造り棧瓦葺きで、西正面に切妻造り玄関を設ける。小屋組は木材と丸鋼による混合トラス構造。縦長窓や柱頭飾り等でセセッションを取り入れる。	建築物	学校 2
27	野間崎灯台	愛知県知多郡美浜町	T10/H11改修	伊勢湾に突出した富具崎港南に建つ円形灯台。無筋コンクリート造、高さ一八メートルで、壁厚は〇・九メートルと厚い。内部は五層で、幾何学的な形の持送で支えた灯室はハリ板(はん)を三角形とする。岩礁に建つ白亜の灯台。	工作物	交通 1
28	恵日山観音寺観音堂	三重県津市	S43	津城下中心部、津観音で知られる寺院本堂。戦災焼失した旧国宝の本堂を建築史家村田治郎により鉄筋コンクリート造で復元したもの。出三斗(でみつどう)や叢東(みのづか)、建具などの外廻り意匠に加え、全体によく旧態を伝える復興建築。	建築物	宗教 2
29	旧小淵(こぶち)医院診療棟	三重県津市	S11	津市南西の農村に所在する医院の洋風診療所と和風住居棟。診療所は寄棟造り平屋建て、正面に角柱の玄関ポーチを付け、両脇に矩形窓を開けるなど、直線的なデザインを基調とする。住居棟は入母屋造りの二階建てで、数寄屋風の続き間座敷を二階に配して縁にガラス戸を建て、落ち着きある行まいの近代和風住宅。診療棟を洋風とする医院の典型。	建築物	文化福祉 2
30	旧小淵医院住居棟		S11		建築物	住宅 1

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
31	旧倭(やまと)村役場(ハッレ倭)	三重県津市	S11	初瀬街道(はせかいどう)に面する木造二階建ての旧村役場。下見板壁に矩形窓を並べた簡明な外観の一方で、切妻起り屋根の車寄(くるまよせ)は洋風に懸魚(げぎよ)を付す。一階はカウンター越しに広い事務室と奥に村長室等配し、二階は議場とする。村役場の旧態がよく残る。	建築物	官公庁舎 1
32	旧吉田医院主屋		S14	伊勢湾西岸の漁村に所在する医院建築。主屋は洋風診療棟と和風の玄関・居住棟からなる。診療棟は半切妻造り屋根で、壁を下見板とドイツ壁とし、矩形窓を並べる。玄関・居住棟は入母屋造りの二階建てで続き座敷を配す。敷地奥の入院棟は、片廊下入院室三室を並べ、地域医療の実際を伝える貴重な建物。門は旧道に面し、高さ二・四メートルの石柱一対を構え、間に鉄製アーチを架けて洋風意匠にまとめる。診療棟を洋風とする医院の典型。	建築物	文化福祉 2
33	旧吉田医院入院棟	三重県津市	S24		建築物	文化福祉 1
34	旧吉田医院門		S14頃		工作物	文化福祉 1
35	住川家住宅主屋	三重県名張市	M中期/T後期改修	初瀬街道新田宿(しんでんしゆく)の街道に面する茅葺き農家。四周に瓦葺きの下屋を廻す。南を土間、北を床上部二列五室として東西面に縁を通す。表座敷に床構えを付す。宿場町の南端にあり、街道の風情を留める。	建築物	住宅 1
36	勝田家住宅主屋	大阪府大阪市	T後期/S4増築	市街地にある地主の町家で、元は前栽(せんざい)があり、通りから少し引いた表構えを形成する。背面庭側の角座敷等は銘木(めいぼく)に凝った造りで北端にサンルームを配す。戦火を免れた希少な近代の大型町家で往時の町並みを残す。	建築物	住宅 2
37	四天王寺五重塔		S34/R元補強	戦災やジェーン台風で失われた四天王寺伽藍の、鉄骨鉄筋コンクリート造による再建建造物群。発掘調査成果に中国の古代壁画を取り入れたながら、伽藍全体に強い柱の洞張り、一軒隅扇垂木(おうぎだるき)、雲斗(くもど)、人字形割束(ひとじがたわりつか)など飛鳥様式を基調とする。一方で、講堂は初唐様式を参考し、五重塔は心柱を立てずに昇降に供するらせん階段を設けるなど近代的な側面を備える。学術的な古代寺院復元の初例で、建築史家藤島玄治郎による設計。	建築物	宗教 2
38	四天王寺金堂		S36		建築物	宗教 2
39	四天王寺講堂	大阪府大阪市	S38		建築物	宗教 2
40	四天王寺中門		S38		工作物	宗教 2
41	四天王寺廻廊		S38		建築物	宗教 2

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
42	四天王寺阿弥陀堂	大阪府大阪市	延宝2(1674) / S28・S63 移築	寺域南西部に建つ希少な寄棟造り妻入りの仏堂。奥深い平面で、化粧屋根裏と鏡天井の外陣・格天井の内陣・後陣からなる。三重県国東寺(くつかじ)本堂を移築した紀州徳川家ゆかりの建物。	建築物	2
43	四天王寺納骨堂	大阪府大阪市	E中期 / S28・S63移築	寺域南西部に建つ方三間の宝形造り椽瓦葺きの仏堂。角柱で上端に粽を付け、肘木は笹縹(ささぐり)付き。内部は格天井(ごうてんじょう)で、奥側三面に納骨壇、その中央に軒唐破風の宮殿(くうでん)を置く。三重県国東寺聖天堂を移築したもの。	建築物	2
44	四天王寺聖霊院唐門	大阪府大阪市	文化5(1808) / M30頃・S27移築・同54頃改修	寺域南東部に建つ四脚門。切妻造り銅板葺きで元は檜皮葺。禅宗様の意匠と、墓股等の精巧な彫刻で格式高く飾る。徳川家康を合祀した用明殿の正門として建築、本坊御成門(おなりもん)を経て、現在地に移築。	工作物	1
45	四天王寺本坊唐門	大阪府大阪市	E後期 / 天保頃改修・M30頃移築	寺域北東部の本坊の正門。向唐門(むかいからもん)本瓦葺きで元檜皮(ひわだ)葺き、格天井とし、禅宗様の意匠とする。徳川歴代將軍を祀る五智光院(ごちこういん)の正門として建築、虹梁上の雲竜彫刻、扉の三つ葉葵紋透彫り、鏝(かざり)金具を施すなど格式高い。	工作物	1
46	四天王寺青龍亭	大阪府大阪市	M後期 / H15移築	四天王寺本坊の庭園内に建つ独立した茶室。屋根は銅板葺きで元は杉皮葺き。内部は台形と正三角形の二席と、これらを繋ぐ水屋からなる斬新な平面で、意匠は草庵風だが、一方で開口部が大きく近代的な茶室である。	建築物	2
47	杉江能楽堂	大阪府岸和田市	T6 / S42改修	岸和田城跡に所在する能楽堂。切妻造りの舞台棟と、橋掛り含む築屋棟を白洲中庭に面して配し、相対する入母屋造り座敷棟の見所と、下手の脇見所からなる。対置式(たいちしき)として白洲に採光する。大阪府内現存最古の能楽堂。	建築物	2
48	南海電気鉄道南海本線蛸地藏駅西駅舎	大阪府岸和田市	T14 / H元改修	岸和田城跡南西に位置する南海本線の洋風駅舎。半切妻屋根を交差させたスレート葺きの勾配屋根と妻面の屋根窓が特徴的。南海本線洋風駅舎の一つで良質なセセッションの意匠とする。	建築物	1
49	吉野家住宅主屋	大阪府岸和田市	S4	岸和田城下の紀州街道に面する米穀商の町家。豪壮な二階建てで、西側落棟は倉庫で入母屋造りとする。西寄りに玄関を設けて通り土間とし、東側に座敷等を配す。木柄が大きく、肥松(こえまつ)一枚板の建具など贅を凝らす。	建築物	1

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
50	伴林氏神社(ともばやしのうじのじんじや)本殿	大阪府藤井寺市	S15/同36改修	市野山古墳(いちのやまこふん)の西にある式内社本殿で大伴(おおとも)氏の祖神を祀る。本殿は、正面三間春日造りに向拝に切妻破風を載せる大型本殿。二軒(ふたのき)繁垂木(しげだるき)。大棟に堅魚木(かいつおぎ)、千木(ちぎ)、鬼板(おにいた)が付く。棟門及び透塀が囲み、木階(もっかい)廻りを幣殿に繋ぎ屋内とする。拝殿及び幣殿は入母屋造り平入りで、三間の向拝に千鳥破風を載せる。奥に幣殿が突出し、翼廊を介し東に祭器所、西に神饌所を配す。格天井御影石敷きの広い土間で、近代らしい堂々とした造り。大鳥居外側西に位置する手水舎は、靖国神社手水舎を移築したもの。二軒吹寄せ垂木、四隅に三本一組で円柱を立てるなど、近代らしい洗練された意匠。西の靖国神社として整備された台湾檜素木造りの格式ある近代社殿群。	建築物	宗教
51	伴林氏神社拝殿及び幣殿		S16/同58改修		建築物	宗教
52	伴林氏神社棟門及び透塀		S15/同58改修		工作物	宗教
53	伴林氏神社手水舎		S16/同58・H8改修		工作物	宗教
54	伴林氏神社若宮八幡宮社殿(旧澤田尋常小学校奉安殿)	大阪府藤井寺市	S15/同48・H15移築	式内社の神社本殿西に建つ元は奉安殿の社殿。木造の一間社神明造(しんめいづくり)銅板葺きで、千木、堅魚木、鞭掛(むちかけ)を備え、木柄(きがら)太く格式備える。木造奉安殿の希少な遺構で神明造りによる好例。	建築物	宗教
55	甲南女子中学校・高等学校茶道教室	兵庫県神戸市	S46	校地東に位置する茶室と、西門脇の守衛室で、ともに設計は村野藤吾による。茶室は寄棟造り椀瓦葺きで、銅板葺き土庇を南西に付す。六畳と八畳の座敷を東西に並べ、意匠は平明でガラス戸を採り入れ、モダニズムに通じる和風意匠をよく示す。守衛室はコンクリートブロック造平屋建てで、宝形屋根を載せる。出入口を入隅にして独立柱を立て、南角では出窓を矩折れに付すなど、細部にまで意匠的配慮が行き届いた守衛室。既登録の講堂などと一連で統一感のある良好なキャンパス景観を形成する。	建築物	学校
56	甲南女子中学校・高等学校西門守衛室		S43		建築物	学校
57	旧藤森家住宅本館	兵庫県姫路市	S15	姫路市中心市街地に建つ医家の邸宅。本館は海老原一郎による設計の住宅で、木造二階建て、座敷廻りに洗練された数寄屋風の材料、意匠を用いる。鉄平石敷きポーチの玄関、直線的意匠の多用、水平連続窓の洋風応接室など、建築家らしい工夫も随所に見られる。産殿は平屋建て入母屋造りで、内部は床構え書院付き八畳と六畳を並べて南に縁を付し、東に廊下と洋室を付す。元は市内旧濱本家住宅別邸にあり、賀陽宮恒憲王妃(かやのみやつねのりおうひ)の出生に当てられた産殿で希少な建物。庭園にある茶室は舟底天井の六畳茶室、四畳半次の間、水屋からなり、障子戸の大開口を取るなど開放的。茶室の西に建つ独立の水屋は、平屋建ての押入付六畳に、北側を落棟の土間、その東西に雪隠、物置をそれぞれ突出させる。北面は街路に面して歴史的景観を形成する。待合は南半を障敷の腰掛待合、北半を土間、三畳座敷、水屋とし、隣接して雪隠を備える。露地門は敷地北面に街路から引き込んで立つ腕木門で、数寄屋風の意匠として茶室への露地を形成する。勝手門は敷地の北面東にあり、本館勝手口へ通じる数寄屋風意匠の腕木門で、カラス格子戸や照明を備えて近代的な実用性を備える。全体として良質な近代和風邸宅で、市街地において貴重な歴史的景観となっている。	建築物	住宅
58	旧藤森家住宅産殿(さんでん)		S10頃/同15移築		建築物	住宅
59	旧藤森家住宅西方庵(さいほうあん)		S5		建築物	住宅
60	旧藤森家住宅水屋		S5		建築物	住宅
61	旧藤森家住宅待合		S5		建築物	住宅
62	旧藤森家住宅雪隠		S5		建築物	住宅
63	旧藤森家住宅露地門		S5		工作物	住宅
64	旧藤森家住宅勝手門		S15		工作物	住宅

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
65	帯解駅本屋	奈良県奈良市	M31/T15・S40代改修	奈良市南郊の木造駅舎。切妻造り棧瓦葺きで正面と北面に庇を廻す。外壁は真壁造り、腰壁板張り。北から待合室、事務室、休憩室を並べる。地方駅舎として標準的な規模で、私鉄が整備した明治期駅舎として貴重。	建築物	1
66	旧奈良警察署鍋屋巡査派出所	奈良県奈良市	S3/H24改修	奈良女子大学東側の市街地に位置する派出所。南西隅切部を出入口とし、切妻の飾破風を掲げ、頂部にフィニアルで飾る。外壁はドイツ壁仕上を採り入れる。地域で親しまれるランドマークの派出所。	建築物	1
67	一木旅館本館	和歌山県海南市	E末期/S前期改修	長保寺(ちようぼうじ)参詣路に面して旅館を営む町家。本館は軒が低い切妻造り本瓦葺きの町家で、広い通り土間を設け、玄関と廊下、待合等の和室二室と背面側に床構え付き角座敷を設ける。玄関棟は通りに開く門から石敷き路で引き込んだ前庭奥にあり、本館から各館を繋ぐ渡り廊下で、内外に数寄を凝らした意匠とする。旧館は堀越しに参詣道に二階を見せる入母屋造りの建物で、各階に続き座敷を配し、銘木趣味の濃厚な意匠で新館と好対照をなす。新館は、敷地背面の宮川に面して建ち、客室は寄付、前室、床構え付き主室、広縁で構成され、落ち着いた数寄屋風意匠でまとめ、門及び扉は参詣道沿いにあり、門は風情のある杉皮葺きの腕木門観を構成し、参詣路に欠かせない貴重な建物。	建築物	1
68	一木旅館玄関棟		S12頃/S30頃改修		建築物	1
69	一木旅館旧館		M後期/S12移築		建築物	1
70	一木旅館新館		S前期		建築物	1
71	一木旅館門及び扉		S12頃		工作物	1
72	上田家住宅主屋	和歌山県橋本市	S4頃/同53・H5改修	紀ノ川南岸に所在する旧家の住宅。主屋は入母屋造りに四周下屋付き、正面に入母屋造りの玄関を構える。玄関東脇を居室、その裏を元は土間とし、表座敷は離れ座敷と庭を挟んで一連の接客空間とする。離れ座敷は八畳三間続きの床構え付き座敷で、主屋の接客空間を補完する広大な造り。良材を吟味し、細部意匠に凝りながら端正にまとめ、乾蔵は青石の石垣上に建つ土蔵で、敷地外郭となる。木瓜形(もっこうがた)に塗り回した入口に裏白戸を建て、北側に窓を開ける。紀ノ川沿いの歴史的景観を構成すると共に、意匠に優れ、間取りの近代化を示す近代和風住宅。	建築物	2
73	上田家住宅離れ座敷		M後期		建築物	2
74	上田家住宅乾蔵		M後期		建築物	1
75	美保神社拝殿	島根県松江市	T13/H10改修	美保関に位置する式内社の拝殿。建築史家伊東忠太と明治神宮造営局木村米次郎の設計。切妻造り妻入り、柿葺きで、正面に下屋と切妻破風を付す。内部は石敷で柱が林立し、四面開放、天井を張らずに整然とした小屋組をみせる。いわずの美保造(みほづくり)の雄大な本殿に相応しい広大な社殿。	建築物	1

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
76	平岡家住宅主屋	徳島県海部郡海陽町	M5/S前期	都城下の集落に所在する農家建築。間取りは東側を元は広い土間、西側床下を食連い四間取り居室とし、中の間に幅一間の玄関を配す。二階建てで外観は発展しているが、間取りは当地方の近世民家の定型を継承する。台所は主屋背面に建ち、井戸ポンプを設置し、いわゆる釜屋で農家の屋敷構えを形成する。二階建ての納屋は、一階を倉庫や牛小屋に用い、二階に床構え付き座敷を設けて居室とする。西扉は当家西側通りを挟んだ武家町に面する石垣で、出陣に反りを付けて重厚な構えとなる。南扉は主屋正面側に巡る土塀で、切石三段布積みの上に建つ。地域の典型となる主屋を中心に屋敷構えが良好に残る。	建築物	住宅	2
77	平岡家住宅宅所		S前期		建築物	住宅	1
78	平岡家住宅納屋		S29		建築物	住宅	1
79	平岡家住宅西塀		M前期		工作物	住宅	1
80	平岡家住宅南塀		S前期		工作物	住宅	1
81	松山城筒井門	愛媛県松山市	S46	昭和四二年に焼失した松山城の門と櫓を、昭和四六年に木造で復元したもの。筒井門は本丸下段の正門で、石垣に挟まれる脇戸付櫓門。上階は西続櫓と東続櫓に接続する。東西続櫓は筒井門上階と一連の入母屋造り本瓦葺きで、突出部にも入母屋屋根を架ける。東には隠門が連続して建ち、西の戸無門とともに独特の枡形(ますがた)を構成して、松山城特有の縄張りを構成する。	建築物	文化福祉	1
82	松山城筒井門東続櫓		S46		建築物	文化福祉	1
83	松山城筒井門西続櫓		S46		建築物	文化福祉	1
84	岡田三郎助アトリエ	佐賀県佐賀市	M41頃/T後期増築・H30移築	東京都渋谷区にあった岡田三郎助の木造アトリエで、郷里佐賀に移築したもののアトリエと女子洋画研究所からなる。内部は安定した採光を確保するため、随所に窓を穿つ。画壇の中心的サロンとなった明治期のアトリエで、初期女性洋画家教育施設としても貴重。	建築物	文化福祉	2
85	大田黒家住宅主屋	熊本県菊池郡大津町	E末期/M前期・T13頃増築・H12改修	阿蘇山麓の農村集落に所在する名字帯刀を許された在御家人(ざいごけにん)の旧宅。主屋は入母屋造りで周囲に下屋を廻して正面に式台を構える。平面は西側を土間、東側居室を六間取りとし、式台や客間を欄間や襖絵が華やかに飾る。蔵は主屋南に建つ土蔵で、北面壁は漆喰で柱梁形(はしらはりがた)を塗り上げ、腰を下見板張とし、元は壁四面ともこの仕様で、独特な意匠。旧家の家格を示す。	建築物	住宅	1
86	大田黒家住宅蔵		T2/H16改修		建築物	住宅	1
87	坂本家住宅主屋	熊本県菊池郡大津町	E末期/S58改修	阿蘇山麓の農村集落に所在する名字帯刀を許された在御家人の旧宅。主屋は二階建て入母屋造りで、平面は広い土間と四間取り居室とし、東側に上質な座敷を角屋で張出し、元は式台を備えた。全体に天井が高く、座敷は貼付壁(はりつけかべ)で飾る等のびやかで上質な大型民家。門は主屋正面に位置する薬医門形式の表門で、簡素な造りだが板天井を張り、引戸を建てる独特な造り。旧家の家格を示す。	建築物	住宅	1
88	坂本家住宅門		E末期/S58・H30改修		工作物	住宅	1

NO.	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
89	林家住宅主屋	熊本県上益城郡益城町	万延元(1861)頃/S中期改修・H元移築	阿蘇山麓の農村集落に所在する在宅侍衆(ざいたくさくむらいしゅう)の旧家。木造平屋建て、屋根は東を入母屋造り、西を寄棟造りとする。表の間の玄関に式台の痕跡を残し、西上手に上質な床構え付座敷を配して家格を示す。	建築物	住宅
90	関崎灯台	大分県大分市	M34	佐賀関半島東端の地蔵崎に建つ灯台で、鉄造、高さ一メートル、円筒形の灯塔に扇形平面の平屋建て付属舎が付く。厚さ六ミリの鉄板を曲面加工し、リベット止めする構造で、明治期の鉄造灯台の一つで貴重。	工作物	交通
	注					

建設年代：Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。

種別：土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。

基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。